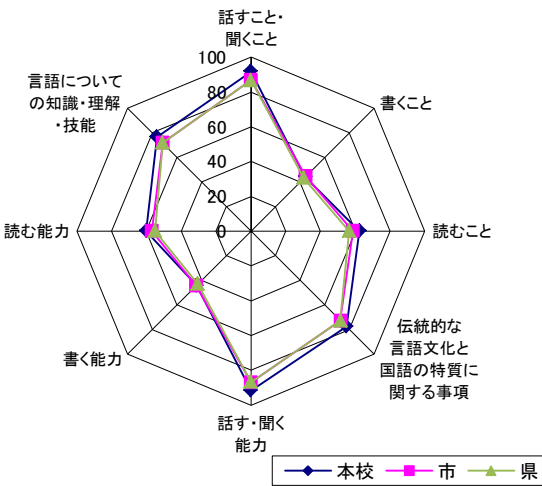


宇都宮市立平石北小学校 第4学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	91.7	87.0	86.7
	書くこと	44.1	44.5	43.1
	読むこと	62.5	58.5	56.6
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	77.6	72.8	72.8
観点	話す・聞く能力	91.7	87.0	86.7
	書く能力	44.1	44.5	43.1
	読む能力	60.1	57.0	55.1
	言語についての知識・理解・技能	76.5	71.7	71.7



★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	・市の平均正答率を4.7ポイント上回っている。話の中心に気を付けて聞くことができるは、校内正答率が90%を超えている。また、互いの考えの共通点や相違点を整理して聞くことができるも校内正答率が87.5%と高い値を示している。	・話し手の意図を考えながら、大切なことを聞き逃さないように聞く態度を養う。 ・誰もが自分の考えを分かりやすく発表できるように、ノート等に自分の考えをまとめる時間を確保する。 ・授業中、意図的に指名するなど、発表する機会を設定し、発表に慣れさせる。
書くこと	・市の平均正答率を0.4ポイント下回っている。目的に応じて必要なことを調べることができるは県の平均正答率を12ポイント上回っている。しかし、報告書の構成を理解することができるは県の平均正答率を約10ポイント下回っている。文章がどのように構成されているか読み取る力が不足している。	・学校行事や生活等の振り返りを日記に書かせるなど、継続的に作文指導を行い、文章を書くことに慣れさせる。 ・自分の気持ちが正確に伝わるように、授業や読書等を通して、気持ちや様子を表す語彙を増やしていく。 ・説明文の学習では、各段落の働きや段落同士のつながりを図に表わすなどして、段落相互の関係を視覚的にとらえさせ、理解を深める。
読むこと	・市の平均正答率を4ポイント上回っている。説明文では目的や必要に応じて文章の内容を読むことができるや物語文では叙述を基に登場人物の気持ちを想像して読むことができるは、校内正答率が80%を超えている。反面、説明文において中心となる語や文をとらえることができるは50%を下回っている。	・物語文の学習では、一つ一つの言葉を大切にしながら読むとともに、直接言葉に表されていない登場人物の気持ちや思いを読み取るように指導する。 ・説明文の学習では、筆者の考えが表れている言葉や文章に気を付けて、内容を正確に読み取れるようにする。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	・市の平均正答率を4.8ポイント上回っている。漢字の読み書きについては問題によって正答率にばらつきは見られるがおおむね80%を超えている。漢字のへんとつくりについては正答率が46.9%と低い。	・新出漢字の学習では、読み書きの練習の他に漢字の成り立ちなども指導する。 ・国語辞典や漢字辞典の使い方を指導するとともに、自分から進んで調べられるように朝の学習や家庭学習の内容を工夫する。 ・宮っ子学力ステップアップシートや漢字ミニテストを継続的に実施し、習熟を図る。